



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部 (直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>

Eメール ; kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利

第38回上天草総合病院学会 最優秀演題発表

病棟レクリエーションの充実を目指して

～言語聴覚士と連携した音楽レクリエーション～

○小浦 直美(看護師)、白濱 久代(看護師)、林 亜星(言語聴覚士)

音楽を通じて脳を活性化させるリハビリテーション法の一つである音楽療法、その効果への注目は年々高まっています。専門的な音楽療法とは言えませんが、音楽の持つ働きを活用した音楽レクリエーションは、医療や介護、教育などの幅広い分野で取り入れられています。また、音楽によるリラクゼーション効果は、認知症の症状改善につながると考えられています。当病棟において、刺激・活動量を増やし、笑顔を引き出すため、言語聴覚士と連携した音楽レクリエーションを導入し、病棟レクリエーションの充実を目指して実践した取り組みを報告します。

研究期間は、平成31年3月～令和元年7月、当病棟入院患者さんを対象に実施しました。方法は、毎月1回言語聴覚士と音楽レクリエーションを実施しました。また、認知症の患者さん3名を対象に、毎週1回音楽レクリエーションを実施しました。事前にMMSE、レーヴン色彩マトリックス検査を実施し、研究前後での検査結果を比較しました。

音楽プログラムの流れを、始まりの歌、歌で体操、四季の歌、気分を変えて、終わりの歌としました。音楽は、キーボードを使用し、参加者が歌うテンポに合わせてるようにしました。「始まりの歌」は、毎回同じ曲にすることで、始まりを認識できるようにしました。「歌で体操」では、曲に合わせて、楽しく体を動かせるような体操を行いました。「四季の歌」では、季節の話題で会話を楽しんだ後に、四季の歌を歌い、季節の変化を感じることができました。「気分を変えて」では、音楽に合わせて振り付けをしたり、タンバリンやカスタネットを使って演奏したりしました。「憧れのハワイ航路」など、テンポの良い曲に合わせて演奏しました。歌唱の際には全く声を出さな



いが、楽器を持つと叩きはじめる参加者もいました。「終わりの歌」では、終わりの認識と興奮した神経を落ち着かせるため、落ち着いたテンポの曲を選択しました。「レクリエーションはそうにゃよかった。」「岡晴夫は私の青春」、「楽しかった。」などの感想が聞かれました。

今回の取り組みは、離床時間、刺激・活動量を増やし、何より笑顔の時間を増やすことにつながりました。言葉によるコミュニケーションが難しい患者さんも音楽には反応し、歌ったり、楽器を演奏することがあります。子どものときに歌った唱歌は、曲を聴くと自然と口ずさみ、歌うと自然と笑みがこぼれます。人と関わりながら行う音楽レクリエーションは、進行役と参加者、参加者同士にコミュニケーションが生まれます。音楽レクリエーションを通して、病棟スタッフと患者さんのコミュニケーションが増えました。検査結果では、その効果を確認することはできませんでしたが、病室でナースコールを頻回に押し、頭痛薬を希望する患者さんが、レクリエーションの時間は楽しく歌ったり、踊ったりすることから、音楽のリラクゼーション効果はあると思われま

す。若い頃に流行った曲を聴くと、昔のことを思い出します。音楽は「記憶の扉を開けるカギ」とも言われています。音楽には、気持ちを落ち着かせるリラクゼーション効果だけでなく、昔のことを思い出して、脳を活性化させる効果も期待できます。毎日変わらない日常をベッド上で過ごす患者さんにとって、患者さんの笑顔の時間を増やすことができるレクリエーションの役割は大きいです。

現在、患者層の変化に伴い、参加できる患者数が減少しています。また、業務多忙のため、時間確保が難しい現状もあります。患者さんの個別性に合わせた対応、業務内容の改善に取り組み、病棟レクリエーションのさらなる充実に向けて検討を重ねていきたいと思

退院後の内服管理確立にむけて

～内服管理フローチャート・評価表を導入して～

○須崎 厚史、澤江 久美、木下 久美

【はじめに】

これまで地域包括ケア病棟での内服管理について、介入が遅れて退院後の生活に適した管理方法まで到達できないまま患者が退院してしまうといった症例があった。院内で使用している既存の評価表が退院支援に適していない事や、看護師の経験値によっても受け持ち患者の介入に差が出てしまうといった問題点が予測され、対策として新たな評価表を作成し運用方法を改善するためのフローチャートを導入した。フローチャート・評価表の導入前後で内服管理に関する患者のデータや看護師の意識について調査を行い有用な結果が得られたためここに報告する。

【目的】

地域包括ケア病棟の内服管理について、作成したフローチャートと評価表を用いることで、入院中から退院後の内服管理方法を確立できるようにする。

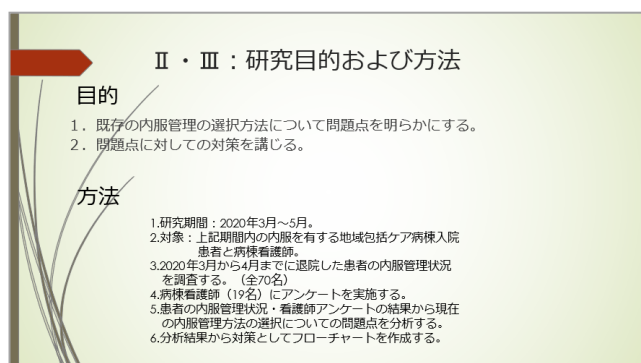
【方法】

地域包括ケア病棟に入院・転棟した患者を対象に作成したフローチャート・評価表を導入し、その前後で内服管理状況を比較した。また、その前後で病棟看護師にアンケート調査を行い意識などに変化はあったか調査した。

についての評価の回数が増えた。また、内服についてのカンファレンスを提案できるようになったという意見があった。さらに、過半数の看護師の意識に変化があったと回答があった。

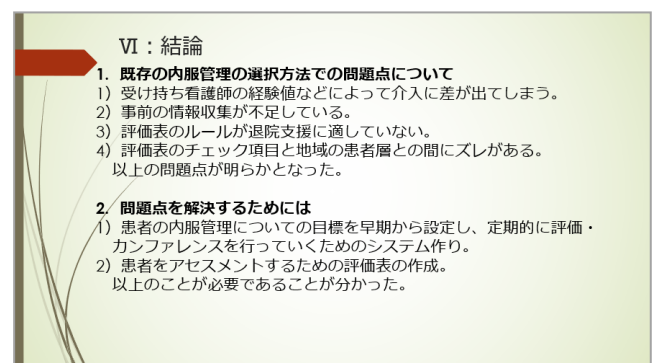
【考察および結論】

既存の内服評価表は院内での誤薬を防ぐものとなっており、退院後の内服管理まで考慮するのに適していなかった。今回フローチャート・評価表を導入し、1週間以内に患者の目標を設定するというルールを作る事によって早期から内服管理について介入できるようになった。また、評価時に次の評価日を設定するというルールを決め評価期間を明確化することで、計画的に内服管理についての介入ができるようになったと考えられる。看護師のアンケート結果からも、退院後の内服管理について考えられるように看護師の意識に変化があったことが予想できる。フローチャート・評価表を導入したことで、看護師の意識が退院後の内服管理まで考えなければならないという方向に変化し、さらに内服管理の目標や評価日を設定したことで計画的に介入ができるようになった。このことから退院後の生活に適した内服管理方法となり退院できた患者の割合や、内服管理の目標達成までの期間の短縮につながったのではないかと考えられる。以上のことから、フローチャート・評価表の導入は、退院後の生活に適した内服管理方法の確立に効果的であることがわかった。



【結果】

フローチャート・評価表の導入前後で、目標とする内服管理方法まで達成し退院できた患者の割合は増加した。また、早期に目標を達成する患者の割合も増加した。看護師アンケートの結果では内服管理



部署紹介

検査科

検査科は、臨床検査技師10名が在籍しており、2021年5月より検査科担当医となられた細川先生のもと、臨床検査室、生理機能検査室、超音波内視鏡センターで勤務しております。

臨床検査室は、患者さんに採血検査の時、伝票を出していただく窓口がある所です。血液検査、尿検査をはじめ、患者さんに提出いただく検体を材料とする検体検査を行っており、現在は新型コロナウイルスの検査も行っております。正確で迅速な結果報告が出来るように努めております。

生理機能検査室は、心電図検査、肺機能検査、運動負荷心電図、心臓血管超音波検査、聴力検査等を行っております。時々、肺機能検査の大きな掛け声が聞こえてくるのを聞かれたことがある方もいらっしゃるかもしれません。患者さんと直接顔を合わせ、説明をしながら検査を進めています。

超音波内視鏡センターは、2Fにあり腹部超音波検査、乳腺超音波検査、甲状腺超音波検査等を

行っております。現在、放射線科の診療放射線技師とも協力して検査にあたっております。

「検査はちょっと苦手だ。」「検査は面倒だ。」と思われている方もいらっしゃると思いますが、検査には病気の診断だけでなく、治療の方針を決定する重症度の判定や、治療効果の確認、前回の検査結果と比較する経過観察等の目的があります。

これからも患者さんに安心して検査を受けて頂けるように、そして先生方の診断の一助となり、患者さんにより良い医療が届くように検査科一同、努力してまいります。よろしく願いいたします。(検査科長 木下)



▲臨床検査室



▲生理機能検査室



▲超音波内視鏡センター

研修会・勉強会の行事予定表

9月10日(金)	学研・基礎研修 アラームにも慌てない！ 人工呼吸器の基礎をおさえよう	15:00～ 当院6階講堂
9月17日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:00～ 当院6階講堂
9月24日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○コロナ感染症は、変異株により再び拡大し、前回の拡大を上回る感染者数となっています。今回は、15歳以下の子供も含め、さらには乳幼児にも拡大しているところが非常に懸念されています。11歳以下のワクチン接種は未だ認められていません。タイでは、死者の30%が10歳以下となっている、との報道もなされています。当初子供・若者は重症化しないことを安心材料として報道されてきました。学校の夏休み明けの対策を心配しています。(城野)

9月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 林 広隆 中原 大智	岸川 秀樹 和田 正文 原田 裕士 林 広隆	永田 昌彦 林 広隆 中原 大智 中村 太造	和田 正文 原田 裕士 中原 大智	細川 貴規 永田 昌彦 原田 裕士	
	※9/17(金)、24(金)の細川医師の外来診療は休診となります。					
代謝内科	※花谷 聡子	-	-	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
脳神経内科	-	-	-	林 広隆	-	
	※毎週木曜日、予約制の診療(午前)となります。					
腎臓内科	-	-	細川 貴規	-	-	9/15(水) 9/22(水)
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	-	-	脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典	船曳 哲典	
外科	城野 英利	城野 英利	城野 英利 (予約のみ)	城野 英利	城野 英利 (予約のみ)	9/17(金) 9/21(火) 9/22(水)
	※毎週水曜日、金曜日の城野医師の診療は予約のみとなります。					
消化器科	坂口 将文 (新患)	坂口 将文 (新患)	-	-	-	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	
	※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。					
耳鼻咽喉科	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	
眼科	粟井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二 ※熊大 (第1・3・5)	竹下 哲二	竹下 哲二	
	※第1・第3・第5水曜日は、熊大医師による診療となります。					
皮膚科	-	-	-	江頭 翔	-	
泌尿器科	-	西 一彦	-	-	西 一彦	9/3(金) 9/10(金) 9/21(火)
超音波・ 内視鏡センター	坂口 将文	坂口 将文	※松野 健司	城野 英利 (健診のみ)	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、13時～16時30分までの受付です。					
教良木診療所 応援	原田 裕士	中村 太造	応援	応援	中原 大智	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。